



しばたいさお 柴田勇雄 議員

Q 葛巻病院の安定経営策は

A 地域医療拠点の体制確保

議員 累積赤字が続いているが、その要因とこれまでの赤字縮小策は

町長 赤字は、平成13・14年度に8億円ほどに膨らみ、経営改善の取組と一般会計からの経営安定化対策により、その後10年間で、赤字解消の目処が立つ経緯にあ

赤字の要因は

町長 病院会計へ経営基盤の安定化に向け、7年度に一般会計から例年より3000万円増額し、1億5000万円を補助。今議会の病院会計補正予算に賃上げ・物価高対策として国の補助1670万円の増額、薬品費の精査で1780万円を減額するなどし、前年度の6340万円の赤字額を圧縮できると見込んでいる。

収支の見込みは

議員 町病院会計の累計赤字額が6年度末で7億円超えであるが、7年度の決算見込みは

町長 病院会計へ経営基盤の安定化に向け、7年度に一般会計から例年より3000万円増額し、1億5000万円を補助。今議会の病院会計補正予算に賃上げ・物価高対策として国の補助1670万円の増額、薬品費の精査で1780万円を減額するなどし、前年度の6340万円の赤字額を圧縮できると見込んでいる。

議員 8年度大幅引き上げの診療報酬等改定に伴う病院経営への影響は

診療報酬増額改定

併せて6年度決算の収支悪化の主要因は、収益の構造的減少と費用の高騰がある。入院・外来ともに患者数の減と介護療養型病床の廃止に伴う減があった。医業費用では、給与費が人事院勧告の33年ぶりの大幅引き上げ、新型コロナウイルス費用が全額病院負担になる等の影響を受けた。

町長 葛巻病院は、町民が安心して暮らし続けるため

議員 葛巻病院の地域医療維持と経営安定に向けた充実強化策は

経営の安定と充実強化策

町長 葛巻病院の地域医療維持と経営安定に向けた充実強化策は

議員 葛巻病院の使命である地域医療維持推進は、医師確保が不可欠であるが、8年度の医師診療体制は

町長 常勤医師が4名、非常勤医師が1名のほか、県立病院、岩手医大等から診療応援を得て、町民の幅広い医療ニーズに応える。

8年度医師診療体制は

町長 本年2月に中央社会診療医療審議会で具体的な点数等が答申された。薬価改定は4月に、診療報酬と材料価格改定は6月に改定。現在、国・県からの詳細な通知が届いていないことから現時点での影響試算は困難。早期の情報収集に努め、今後の動向に注視する。



町民の健康を守る葛巻病院

の最も重要な社会インフラであり、町内唯一の公立病院として採算面が困難な部門の医療サービス提供に努めてきた。

人口減少に伴う患者数の減少に加え、人件費、診療材料費の上昇など社会情勢の変化から経営環境の厳しさが一層増している。

このような状況の中にあっても、住民の暮らしと健康を支える地域医療の拠点として、今後も維持可能な地域医療体制の確保を図る。

Next page

一般質問

今ここが聞きたい

3月9日、1議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

15ページ 柴田勇雄 議員

葛巻病院の地域医療維持と安定に向けた経営体力の充実強化策について

くずまきテレビ録画放送の予定

月日	時間	内容
6月19日 (金)	9時～	議案説明・一般質問
	17時～	議案審査・審議結果
6月20日 (土)	9時～	議案審査・審議結果
	17時～	議案説明・一般質問
6月21日 (日)	9時～	議案説明・一般質問
	17時～	議案審査・審議結果



講師からの説明を聞きながらタブレットを操作する議員

ペーパーレス化システムを体験

令和8年1月28日

1月28日に議会における更なる業務効率向上に向け、タブレット端末を活用したペーパーレス化に取り組むための研修会が全議員を対象に開かれました。

我が議会には、議会の基本条例とも言える「議会総合条例」が平成25年6月に制定されています。

第一条の目的には「町民に身近な議会を実現し、もって町民福祉の向上と町政発展に寄与する。」と記しています。

いつの時代でも、社会の情勢変化に適応した議会活動が求められ



タブレットで資料を閲覧

ることは言うまでもありません。すでに、ICT(情報通信技術)活用が、我々の日常生活にしっかりと溶け込んだ時代に変容していることに遅ればせながら気付きました。

また、これまでの「読む」から画面を「見る」の様変わり、議会の一大変革につながると感じました。

議会のタブレット導入のペーパーレス化は最初の入口であり、今後引き続きICT活用による、グループウェア導入等による議員のスケジュール管理、各種会議の案内、行政資料の送付など議会活性化に向けた活用が必要と考えます。

併せて導入に当たっては、議員協議の上、議会内に「ICT導入委員会」なるものを立ち上げ、調査研究を深め、対応したらどうかと考えます。